

「ワクワクが、続々！」と進化し続けるハウステンボスと 手塚治虫文化賞^{※1}をはじめ国内外から高い評価を受ける 漫画家 高浜寛氏との協同企画を発表 未来のハウステンボスを舞台に描かれる新作漫画を連載

「憧れの異世界。」をブランドに掲げる長崎県のテーマパークリゾート「ハウステンボス」は、オランダの歴史や文化をエンターテインメントとして伝える新たな取り組みとして、漫画家・高浜寛氏との協同企画による新作漫画『アンカリング・ダッチマン』の制作を発表いたします。

本企画は、史実に基づく綿密なリサーチと豊かな想像力をもとに物語を紡ぐ漫画家・高浜寛氏との協同により、オランダの歴史と文化の奥行きをエンターテインメントとしてお届けするものです。本作は、時代と場所が交錯する SF 作品として、未来のハウステンボスを舞台に描かれます。

2026年5月より、リード社「トーチweb」にて連載を開始予定です。

高浜寛氏の創作とハウステンボスが出会うことで紡がれる、新たな物語の始まりにどうぞご期待ください。

リード社「トーチweb」サイト：https://to-ti.in/product/anchoring_dutchman



『アンカリング・ダッチマン』 ©高浜寛/トーチweb

■概要

2036年、長崎——

ハウステンボス美術館で展示準備をする学芸員の前に青年の幽霊が現れる。青年は350年前に沈没した「クルーンフォーゲル号」の呪いに巻き込まれ、成仏できぬまま今も海を彷徨い続けている。彼が呪いから解放され天国へ行く方法はただ一つ。7年に一度だけ許される上陸期間中に「真実の愛」を見つけること。学芸員の女性は過去の傷と後悔から人を愛することを拒んできたが、二人は時空を超えた出会いに戸惑いながらも少しずつ惹かれあい……

■著者・高浜寛氏より

今回の企画について最初に話を伺った時、これはまだえらいことになったと思いました。アニメや映画が元になったテーマパークは世界にもありますが、パーク自体が漫画を生み出すなんて前代未聞。しかも園内を好きに使ってもらって良いという…。面白すぎる、これはやるしかない。どうせだったら社長さんや社員さんにもどんどん意見をもらい、さらに出演してもらおうという事で、幽霊まで巻き込んで、本当に聞いたことのない企画になっています。楽しんで頂けたら嬉しいです！

■ハウステンボス株式会社 代表取締役社長執行役員 CEO 高村耕太郎 より

ハウステンボスが持つオランダの歴史や文化を、より深く魅力的に伝えたい——その思いから、高浜寛氏に本企画を相談しました。

史実に根ざしながら豊かな想像力で物語を紡ぐ高浜寛氏の創作性は、オランダの歴史や文化とハウステンボスのつながりが持つ魅力を、新たなかたちで表現してくれるものと感じています。本作を通じて、オランダとハウステンボスの魅力がより多くの方の記憶に残るものとなることを期待しています。



©Photo Pierre Hybre/Leed

■高浜寛氏 プロフィール

熊本県天草生まれ。筑波大学卒。2020年『ニユクスの角灯』で「第24回手塚治虫文化賞 マンガ大賞」および「第21回文化庁メディア芸術祭マンガ部門・優秀賞」受賞。著書に『イエローボックス』『泡日』『凧渡り』『トゥー・エスプレッソ』『四谷区花園町』、長崎三部作『蝶のみちゆき』『ニユクスの角灯』『扇島歳時記』、『愛人 ラマン』（原作：マルグリット・デュラス）、『薔薇が咲くとき』（原作：ミュリエル・バルベリ）他。海外、とりわけフランスとイタリアでの評価は極めて高く、著作の多くが各国語に翻訳されている他、アングレームヤルッカをはじめとする国際漫画祭への招待など、欧州を中心に各国が注目している。現在、天草四郎の埋蔵金をめぐる歴史浪漫『獅子と牡丹』をトーチ web で連載中。

■作品情報

作品名：『アンカリング・ダッチマン』

著者：高浜寛

出版社：リード社

連載媒体：トーチ web

連載開始日：2026年5月予定

【ハウステンボスについて】

ハウステンボスは、新しい大型アトラクションやエンターテインメントが続々と登場し、「ワクワクが、続々！」の加速が止まりません。

2024年3月に、深海をテーマにした没入型アトラクション「ミッション・ディープシー Xsense ライド」では、五感を刺激する没入体験が叶うライドアトラクションが登場いたしました。ミッフィー誕生70周年の記念すべき年でもある2025年の6月には、世界唯一^{*2}のエリア「ミッフィー・ワンダースクエア」をオープン。絵本の世界に入り込むような没入体験や、国内初^{*3}の常設グリーティング施設など、“カワイイ”が詰まった空間が誕生しました。さらに、今春に『ミッフィーセレブレーション』を開催し、ハウステンボスではミッフィーのエリアとともに、ミッフィーの世界を心ゆくまで満喫できます。続いて9月には日本初^{*4}の爽快！超絶景ライド「エアクルーズ・ザ・ライド」がオープン。想像を超えるスケールと臨場感で、ゲストから大好評をいただいています。（同アトラクションは、2026年4月19日(日)をもって運営終了となります。）

そして2026年4月24日に、世界的に愛され続けている『エヴァンゲリオン』をテーマにした、史上最高の大興奮が体感できる、日本初^{*5}「エヴァンゲリオン・ザ・ライド - 8K -」も誕生予定です。いまだかつてない絶望に襲われるほどの使徒との大激闘に巻き込まれます。ファンはもちろん、初めて『エヴァンゲリオン』に触れる方にも、圧倒的なスケールで桁違いの迫力と興奮をご体感いただけます。ハウステンボスは今、アトラクション・エンターテインメントなどすべてが進化し続けています。

「ワクワクが、続々！」のハウステンボスは、これからもゲストの皆さまに新たな感動と興奮をお届けします。どうぞご期待ください。

※1：2020年の第24回手塚治虫文化賞マンガ大賞において

※2：独自のライドやアトラクションがあるのはハウステンボスのみ（2025年ハウステンボス調べ）

※3：ハウステンボスオリジナルミッフィーのグリーティングにおいて（2025年ハウステンボス調べ）

※4：8K LEDスクリーンをフライングシアター型ライドアトラクションに導入していることにおいて（2025年ハウステンボス調べ）

※5：エヴァンゲリオンのアトラクションで、8K映像を使用することにおいて（2025年ハウステンボス調べ）

【作品についてのお問い合わせ】株式会社リード社「トーチ web」編集部

TEL：03-5373-7011／メール：to-ti@leed.co.jp

【お客様のお問合せ先】ハウステンボス総合案内（ナビダイヤル）Tel：0570（064）110

【取材等のお問合せ先】ハウステンボス コミュニケーション部 PR チーム

Tel：0956（27）0180／Email：pruser@htb-j.com

HP：<https://www.huistenbosch.co.jp/>